

秋冬ブロッコリー栽培情報

今年は9月下旬まで残暑が続き、定植や栽培に苦労されたことと思います。なかなか雨が降らず、畝間通水をされた方もいると思いますが、水を溜めたままにしないようご注意ください。

少し涼しくなると、害虫が発生しやすくなります。害虫は葉裏にいることが多いため、葉をめくって虫がいないかチェックしてください。

花蕾が見えたら約2週間で大きくなります。収穫まであと少し頑張りましょう。

ブロッコリー栽培のポイント

【除草】

雨が降ると雑草が生えやすくなります。雑草が生えていると肥料が吸い取られます。また、病気・害虫も発生しやすくなるため、除草は必ず行いましょう。

● 除草剤の散布（茎葉処理剤）

除草剤名	使用時期	薬量/10a (希釈水量)	使用回数	使用時期
ナブ乳剤	イネ科雑草 3～5葉期	150～200ml (100～150ℓ)	1回	収穫7日 前まで

- 抜いた雑草は圃場の外に出してください。放置すると害虫発生の原因になります。
- 排水溝が雑草で詰まらないように注意してください。

【防除】

これから防除が主な作業になります。害虫が多発すると、農薬を散布しても防除困難になります。早めの防除を心がけましょう。病気予防のため、葉や花蕾に泥が付いていたら水で流してください。

【農薬散布の注意点】

- 植物体全体（殺菌剤は花蕾周辺）にかけてください。
- 希釈倍率を確認して散布してください。倍率が低いと効果が薄くなります。また高すぎると薬害が出ます。
- ブロッコリーは農薬が付きにくいので、展着剤を混ぜると効果的です。

【ブロッコリーの病気と防除】

- 黒すす病：高温、多湿時に花蕾や葉に発生する。はじめ黒色の斑点を生じ、のちに病斑が拡大する。
予防薬：シグナムWDG、アフェットフロアブル
- 花蕾腐敗病：花蕾に発生する。雨の跳ね上がりで土壌から細菌が外葉に付き、花蕾に移動して発病する。
予防薬：Zボルドー、マイコシールド

【ブロッコリーの害虫と防除】

区	品目	使用濃度 10aあたり使用量	使用時期 使用回数	備考
殺虫	プレバソンフロアブル5	2000倍 100～300ℓ/10a	収穫前日まで 3回以内	コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ ・ハイマダラノメイガ
	スピノエース顆粒水和剤	5000倍 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで 3回以内	アオムシ・コナガ
	アフームエクセラ顆粒水和剤	1000～1500倍 100～300ℓ/10a	収穫7日前まで 3回以内	アオムシ・コナガ・ハスモンヨトウ ・ハイマダラノメイガ
	アフーム乳剤	1000～2000倍 100～300ℓ/10a	収穫3日前まで 3回以内	アオムシ・オオタバコガ・コナガ ・ヨトウムシ
		2000倍		ハスモンヨトウ